

令和元年度 島田市立島田第二中学校



二中だより 10月号

☆校訓 文化の薫る学校

☆学校教育目標 「こころざしを持ち 自分の道を切り拓く生徒」
☆合い言葉 「愛 ・ 自治」

令和元年 10月1日 発行

二中学生に望むこと

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。8月27日(火)に2学期がスタートし、酷暑の中、熱中症に気を付けながら練習を重ね、体育大会本番当日は、実に爽やかに競技・運営・応援・エキシビション等、二中学生らしさが繰り広げられました。決して教師に頼ることなく、大きな声で心を一つにした応援は、令和元年度の二中の歴史に大きな1ページを刻むことができました。

ところで皆さん覚えていらっしゃいますでしょうか？2学期始業式で言った「二中学生に望むこと」です。一つは「高い志をもつこと(夢をもつこと)」こと。目標ではなく「夢」です。皆さんの中には、実現できない夢など持っても意味がないと考える人がいるかもしれません。しかし、どうでしょうか。目標より「夢」の方が大きな大きなエネルギーを私たちに与えてくれないでしょうか。常に夢を持ちましょう！毎日、夢に向かって努力し、必要があれば修正しましょう。

二つ目は「あいさつ」です。かつての二中学生は、近所の人だけでなく、畑を耕しているお爺さんにまであいさつすると地域から褒められたものです。また、ある部活動の先生などは、朝や帰り、会う友だちや先生方へ「何度でもあいさつ！」と呼びかけていました。私は、強い部活動は姿勢が違うものだと思います。急激に国際化が進む中、これからの日本が必要とされているコミュニケーション能力ですが、あいさつが第一歩ということをもっと意識してみましよう。

三つ目は「読書」です。OECD(経済協力開発機構)の調査を見ると、先進国の中で日本の子供達の読解力が伸び悩んでいます。世界の大学の中でも日本の大学の論文数・質の低下が叫ばれています。これらはスマホ(PC)の影響とも言われていますが、このような現状を受け、2020年度(来年度)から大学入試改革が始まります。大学入試も高校入試も読解力を求める問題が一層出題されるようになっていきます。本の種類は基より、最近の読書の形態は実にさまざまです。小説本だけでなく、生き方を考えさせる伝記や、日進月歩の生物学や天文学や歴史学などの科学本や歴史本などもあります。単に読書量(冊数)だけでなく、驚きや感動があり深く染み渡る読書に、この秋挑戦してみましよう。そして、その貴重な体験を伝えてみましよう。

校長 池谷 英人